

# 「妊婦、家族への妊娠中からの教育（出産前教育）」

## 勉強会

### 【開催要旨】

今年から勉強会の新しい試みとして、1) 即座に役立つ臨床知識、2) 基礎研究知見、3) 研究の基礎知識、4) 他分野・他領域知見を2~4年サイクルで行っていきます。

今回は即座に役立つ臨床知識として母乳育児の指標とも言える「母乳育児成功のための10か条」と母乳育児の新生児には必ず問題になります「低血糖」の二つのテーマを企画しました。また、研究の基礎知識として論文を読むときに必要な「EBM」と「文献検索」の勉強会を行います。

そして、参加型勉強会として「妊婦、家族の妊娠中からの教育」のテーマでシンポジウムを行います。シンポジウムでは出生前の教育がその後の母乳育児にいかにかに大切かを討論します。

今回の勉強会は午前、午後と盛りだくさんです。皆様のご参加をお待ちしています。

## プログラム

開催日：2014年3月8日 9:00～16:30

開催場所：昭和大学病院 臨床講堂

○開会の挨拶 佐久看護大学 看護学部看護学科教授 川崎 佳代子先生

### ○教育講演①

座長 日本赤十字看護大学 母性看護学大学院国際保健助産学教授  
井村真澄先生

#### 1、「EBMとは？」(9:05～10:05)

演者 聖路加看護大学 八重ゆかり先生

#### 2、「文献検索の仕方」(10:05～11:05)

演者 聖路加大学図書館司書 松本直子先生

### ○教育講演② 「低血糖」(11:05～11:50)

演者 昭和大学医学部小児科学講座・IBCLC 滝 元宏先生

座長 まつだこどもクリニック院長 松田泰寿先生

### ○昼食休憩 (11:50～13:00)

### ○教育講演③「10か条を読み解く」(13:00～13:45)

演者 横浜市大センター病院 総合周産期母子医療センター 関和夫先生

座長 宮古病院・IBCLC・産婦人科医 涌谷桐子先生

### ○休憩 (13:45～14:00)

### ○シンポジウム「出産前の母乳育児支援」(14:00～16:25)

座長 黒川産婦人科医院 (BFH) 医院長 黒川賀重先生

石井第一産婦人科クリニック (BFH) 師長 山田恒世先生

#### 1、基調講演 (14:00～14:20)

演者 昭和大学医学部小児科学講座・IBCLC 滝 元宏先生

#### 2、シンポジウム (14:20～15:20)

演者 島根県 (BFH) 吉野産婦人科医院 吉野 和男先生

NPO 法人 孫育て・ニッポン理事長 棒田 明子先生

千葉市花見川区保健福祉センター健康課 志村 栄子先生

千葉市出張専門高橋助産所 高橋 佳子先生

休憩 (15:20～15:25)

#### 3、ディスカッション (15:25～16:25)

○閉会の挨拶 石井第一産婦人科クリニック・担当常務理事 石井 廣重先生

日本母乳哺育学会 教育委員会

- |        |       |                                |
|--------|-------|--------------------------------|
| ○委員長   | 黒川 賀重 | 盛岡市黒川産婦人科 (BFH)                |
| 産婦人科医  | 宇津野 博 | 茨城県下妻市宇津野産婦人科 (BFH)            |
|        | 涌谷 桐子 | JALC 前代表・IBCLC                 |
| 小児科医   | 菊池 新  | 高槻病院新生児科・IBCLC                 |
|        | 滝 元宏  | 昭和大学小児科・IBCLC                  |
|        | 田中 恭子 | 順天堂大小児科                        |
| 助産師    | 井村 真澄 | 母乳哺育学会理事・<br>日赤看護大教授・IBCLC     |
|        | 楯 亜希子 | 東京医科歯科大学・IBCLC                 |
|        | 山田 恒世 | 石井第一産科婦人科クリニック (BFH)<br>師長     |
| 担当常務理事 | 石井 廣重 | 静岡県浜松市<br>石井第一産科婦人科クリニック (BFH) |

## 速報

### 「妊婦、家族への妊娠中からの教育（出産前教育）」勉強会

勉強会は、平成 26 年 3 月 8 日（土）午前 9 時より、昭和大学医学部臨床講堂で開催されました。朝からの開催にもかかわらず、約 80 名の方がご参加下さいました。

開会のご挨拶を日本母乳哺育学会副理事長の川崎佳代子先生（佐久看護大学）より頂きました。

教育講演①では、八重ゆかり先生（聖路加看護大学）より、「EBM とは？」について、何故？エビデンス（科学的根拠）が必要なのかを説明頂き、コクラン・コラボレイションのお話がありました。続いて、松本尚子先生（聖路加大学図書館）より、「文献検索の仕方」について、EBM の実践において、エビデンスを有効に「つかう」最初のステップである「患者の臨床課題を明確にする」方法と「必要なエビデンスをさがす」方法を具体的にご紹介頂きました。（1）適切な文献データベース等を選ぶための基礎知識、（2）PI(E)CO の作成から文献データベースを検索する方法、（3）文献情報を絞り込み、必要なエビデンスに近づく方法についてご案内頂きました。

教育講演②は、滝 元宏先生（昭和大学）より、新生児における低血糖に最適なマネージメントをするため、生後早期の新生児の代謝適応能力、実際の予防については、ABM から出された「母乳で育てられている新生児の血糖モニターと低血糖治療のためのガイドライン」を参考にお話し頂きました。

教育講演③は、関 和夫先生（横浜市大センター病院）より、分娩を扱う施設を母と子が母乳哺育に進みやすい組織にしていくためのステップである「母乳育児を成功させるための 10 か条」を最近の知見を含め解説頂きました。

シンポジウムは、出生前の教育がその後の母乳育児にいかに大切かを討論しました。「出産前の母乳育児支援」の基調講演で滝 元宏先生（昭和大学）より、学習目標、（1）母乳育児のための出生前教育のポイントについて理解する、（2）BFH 施設での 10 か条の実践のステップ 3 に該当する出生前教育の方法と留意点について理解する、（3）母乳育児における家族への支援を行う中での出生前教育の意義について理解する、（4）行政としての地域母子保健支援の中での出生前教育について理解する、事の必要性について解説されました。

引き続きシンポジストの吉野和男先生（BFH 吉野産婦人科医院）、棒田明子先生（NPO 法人孫育て・ニッポン理事長）、志村栄子先生（千葉市花見川区保健センター健康課）、高橋佳子先生（千葉市出張専門高橋助産所）がお話をされました。

休憩後、黒川賀重先生（BFH 黒川産婦人科医院）と山田恒世先生の司会で、シンポジストの先生方と会場の方とのディスカッションが行われました。会場からは、ご自身の施設での出生前教育についてのご紹介など有り、活発に質疑応答が行われました。第 29 回学術

集会について関会長より案内があり、石井副理事長より終わりの言葉をいただきました。

初めての試みで、午前と午後の1日かけた勉強会開催を行いました。朝から終了まで、ほとんどの方に通してご参加頂きました。

有意義な勉強会をありがとうございました。文責：本間

